

予 算 要 求 資 料

令和6年度当初予算

支出科目 款：衛生費 項：医務費 目：医務費

事業名 オンライン診療によるへき地医療確保事業費 (地域医療介護総合確保基金)

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

健康福祉部 医療福祉連携推進課 在宅医療福祉係 電話番号：058-272-1111(内3281)

E-mail：c11220@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 9,200 千円 (前年度予算額： 9,200 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	9,200	0	0	0	0	0	9,200	0	0
要求額	9,200	0	0	0	0	0	9,200	0	0
決定額									

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

平成30年4月に診療報酬改定で新設されたオンライン診療は、情報通信機器を通して患者の診察及び診断を行えることから、特に中山間地域における患者の通院と医師の訪問診療等の負担軽減の両面から効果が期待されている。

県は、令和2年度から4年度にかけて県内医療機関や訪問看護ステーションに対してオンライン診療に係る情報通信機器の購入にかかる経費の補助を実施し、オンライン診療の普及活用を推進してきたところ。令和5年度は、医療資源が少ないへき地において、へき地医療拠点病院等から、へき地診療所や地域集会所等に対するオンライン診療を実施し、モデルケースとして運用。平成6年度は、モデルケースの有効性や課題等の整理及び他ニーズ等の補助事業への対象拡充を図ることにより、引き続き中山間・へき地における医療確保を実現していく。

(2) 事業内容

へき地医療拠点病院、へき地診療所への補助事業として事業に要する通信機器等の調達、モデル事業の実践、事業効果の検証、課題等の整理等を実施

(3) 県負担・補助率の考え方

「清流の国ぎふ」創生総合戦略において、「将来の医療需要に応じた病床の配置や対面診療とオンライン診療を組み合わせることなどにより、効率的で効果的な地域医療提供体制の構築を推進する」こととしている。岐阜県DX推進計画において、オンライン診療の推進が位置付けられている。医療資源の乏しいへき地でのオンライン診療に要する経費を県が負担することは妥当である。

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	9,000	へき地医療拠点病院等、へき地診療所
旅費	60	業務旅費
需用費	40	消耗品等
役務費	100	郵送料・電話料
合計	9,200	

決定額の考え方

--

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

岐阜県DX推進計画

医療分野のDX政策の方向性と主な施策として、オンライン診療の推進が位置付けられている。

(2) 国・他県の状況

岡山県：オンライン診療による医療過疎地域における医療確保事業（R3～）

福井県：へき地におけるオンライン診療の実証事業（R4）

群馬県：過疎地域等におけるオンライン診療体制整備事業（R4） 等

(3) 後年度の財政負担

モデル事業の実施実績を検証し、検討する。

(4) 事業主体及びその妥当性

へき地診療所に医師等を派遣し、へき地医療を支援するへき地医療拠点病院等及びその受け皿であるへき地診療所に対して事業助成することは妥当である。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

地域拠点病院からへき地診療所に対するオンライン診療を実施し、モデルケースとして運用、検証することで、他地域におけるへき地医療確保の展開に繋げていく。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前	R4年度 実績	R5年度 目標	R6年度 目標	終期目標 (R7)	達成率
へき地診療所等との間でオンライン診療を実施する地域拠点病院等数	0	0	3	5	7	0%

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	<p>・取組内容と成果を記載してください。</p> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>
令和3年度	<p>・取組内容と成果を記載してください。</p> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>
令和4年度	<p>・取組内容と成果を記載してください。</p> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

- ・ 事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断)
3:増加している 2:横ばい 1:減少している 0:ほとんどない

(評価)

- ・ 事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか)

- 3:期待以上の成果あり
- 2:期待どおりの成果あり
- 1:期待どおりの成果が得られていない
- 0:ほとんど成果が得られていない

(評価)

- ・ 事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか)

- 2:上がっている 1:横ばい 0:下がっている

(評価)

(今後の課題)

- ・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項

(次年度の方向性)

- ・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント
又は事業名及び所管課

組み合わせて実施する理由
や期待する効果 など

【〇〇課】